

れんめい千葉



船橋親水公園花火

千葉県看護連盟
会長
近藤 明子

厳しい猛暑も少しずつ秋の気配を感じさせる今日この頃です。

日頃より、皆様には千葉県看護連盟にご支援ご協力頂き心より感謝申し上げます。

さて、平成27年度千葉県看護連盟通常総会が6月26日開催され、審議事項すべて全会一致で承認されました。有難うございました。

早速、年間計画に沿って活動して参ります。

先日、27年度の活動計画の一環である千葉県看護協会との合同研修会に、日本看護協会坂本会長に貴重なご講演を頂きました。

演題は「いのち・くらし・尊厳をまもり支える看護の将来ビジョンと看護職の役割」と題し、2025年問題を含め国民が安心して健康寿命を全うするために、看護はどうあるべきか？看護職はそれにどう応えて行くか等、具体例を通しながら、迫力ある講演でした。

そして、坂本会長は、今こそ！看護連盟と看護協会が手を取り合って、看護職が「いきがい、やりがい」を持って「看護の力」を発揮するときですと強調されました。看護職のトップリーダーとして、ひかり！輝いていました。

さて、6月の日本看護連盟通常総会で第24回参議院選挙の組織代表として、現在の厚生労働大臣政務官の「たかがい恵美子」参議院議員を候補予定者として、決定いたしました。千葉県看護連盟もそれを受け、「たかがい恵美子」後援会活動を積極的に進めて参ります。

今回は厳しい選挙と言われておりますが、看護職一人ひとりが心を一つにし、「たかがい恵美子」を応援する事で、「たかがい恵美子」は更に自信と誇りを持って国会で活躍できます。

これからの「地域包括ケアシステム」でリーダーシップが求められる看護職の為、そして国民の為に「たかがい恵美子」は先頭に立って走り続けます。法律を作る、制度を変えるのは議員です。その議員を支え、政治の力を発揮するのは私達看護連盟です。

看護職がその力を結集し結果を出すのは来年の参議院選挙です。18歳19歳の有権者を含め、若者の声を国会に届け、老いも若きも一緒に政治に参加しましょう。